

一老中退出已後平服

一西九當番詰番之面々、西九於席々御菓子、

〔要筐辨志一年中行事〕同月〇六十六日

一嘉祥爲御祝儀、辰刻前出仕、染帷子長袴、

一國主御連子方、溜詰御譜代大名、并外様大名、嫡子とも、高家交代寄合、無官之面々、雁之間詰、御奏者番菊之間御縁頼詰、同嫡子共、諸番頭、諸物頭、御三卿御家老、諸役人御番方、五百石以上之寄合、

御側、御留守居子共、大御番頭子共、御醫師、御同朋迄出仕、御菓子頂戴之、

御三家様御出仕無之、加賀守越前守も同じ、

〔嘉定私記〕御菓子總數千六百拾貳膳 木地片木杉之葉鋪

一饅頭三盛、百九十六膳、總數五百八十八 一羊羹五切盛、百九十四膳、同九百七十切 一鶉燒五

盛、二百八膳、同千四拾 一阿古屋拾二盛、二百八膳、同二千四百九拾六 一金鈍拾五盛、二百八膳

同三千百五拾 一寄水三拾盛、二百八膳、同六千二百四拾 一平糞五盛、百九十四膳、同九百七拾

一熨斗二拾五筋盛、百九十六膳、同四千九百筋 右並場所 大廣間二の間下の方横二拾七膳

同所三の間上の方横三拾五膳、前日御退出後並置申候 夜中火笠掛燭臺六本 但張番附居

申候 右之外 一切麥素麴御酒詰錫陶其外共、當朝相廻

〔幕朝年中行事歌合〕二十番 右 嘉祥

千代の數敷ならべつゝ、もろ人の手にまかせたるけふの賜もの

嘉祥は室町の頃より初りしにや有らむ當家にては代々の佳例となれり、六月十六日兩御所

大廣間に渡御有、二三の間にかけて、菓子ひとくさづ、折敷にもりて並べおく、其數二ちよば

かりもやあらん、此日兩御所には大廣間の中段におはします、松の間の中少將侍從の面々一